

日本人における新型コロナウイルス感染症 (COVID-19)に関する重症化因子の探索 -多施設共同後ろ向き観察研究-のお知らせ

当埼玉医科大学病院 感染症科・感染制御科では、このたび課題名「日本人における新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) に関する重症化因子の探索-多施設共同後ろ向き観察研究-」とする臨床研究を行うことになりました。この研究は当院に入院された COVID-19 患者さんの臨床情報を用いて、新型コロナウイルス感染症の重症化因子を探索することを目的としています。この研究の成果は、患者さんの予後の改善や感染拡大の抑止につながります。

なお、研究の実施にあたり、当院に設置されている埼玉医科大学病院 IRB (臨床研究の審査を行う委員会) において、研究の医学的な内容だけではなく、患者さんの人権、安全についても十分に検討され、承認を受けております。

名称：埼玉医科大学病院 IRB (アイ・アール・ビー)

設置者：埼玉医科大学病院 病院長

所在地：埼玉県入間郡毛呂山町毛呂本郷 3 8 番地

課題名：日本人における新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) に関する重症化因子の探索-多施設共同後ろ向き観察研究-

研究期間：承認日 ~ 2025 年 3 月

研究責任者：埼玉医科大学病院 感染症科・感染制御科 准教授 樽本 憲人

共同研究機関とその研究責任者

東北大学大学院医学系研究科 感染病態学分野 青柳 哲史

国立病院機構東京医療センター 総合内科 片山 充哉

東京医科大学病院 感染制御部 中村 造

東京慈恵会医科大学 感染制御科 堀野哲也

東京都立墨東病院 感染症科 阪本直也

虎の門病院 臨床感染症科 荒岡秀樹

神奈川県立足柄上病院 総合診療科 岩淵敬介

みなと赤十字病院 感染症科 渋江 寧

公立陶生病院 感染症内科 武藤義和

名古屋市立東部医療センター東市民病院 感染症科 長谷川千尋

名古屋第二赤十字病院 感染制御部 富田ゆうか
和歌山県立医科大学附属病院 感染制御部 小泉祐介
京都医療センター 外科・感染制御部 畑 啓昭
京都市立病院 感染症科 栃谷 健太郎
大阪市立総合医療センター 感染症内科 白野倫徳
奈良県立医科大学感染症センター 笠原 敬
東北医科薬科大学病院 感染症内科 島田 大嗣
東北大学病院 総合感染症科 馬場 啓聡
琉球大学病院 第一内科 金城武士
自衛隊中央病院 内科 青野 茂昭
さぬき市民病院 内科 坂井 健一郎
登米市立登米市民病院 松本 宏
済生会熊本病院 感染管理室 川村 宏大
JCHO 北海道病院 感染症対策室 原田 敏之
長崎大学病院 呼吸器内科 岩永 直樹
下関市立市民病院 吉田 順一
東京高輪病院 感染症内科 守山 祐樹
大分県立病院 感染管理室 山崎 透
山形大学医学部附属病院 第一内科 井上 純人
旭川赤十字病院 呼吸器内科 本田 宏幸
大阪医科薬科大学病院 感染対策室 小川 拓
NHO 熊本再春医療センター 呼吸器内科 中村 和芳
慶応義塾大学医学部 感染症学教室 南宮 湖
埼玉医科大学国際医療センター 感染症科・感染制御科 光武耕太郎
横浜市立大学附属病院 感染制御部 加藤 英明
島根大学医学部附属病院 感染制御部 城 有美
大阪府済生会中津病院 呼吸器内科 長谷川 吉則
藤田医科大学 感染症科 土井 洋平

研究の目的：COVID-19の重症化を予測し、適切な感染管理や治療を導入することはとても重要です。本研究では、当院に入院されたCOVID-19患者さんの臨床情報を用

いて、COVID-19の重症化因子を探索・同定することを目的としています。本研究で得られる結果は、個人が特定できないように仮名加工化を行い、研究の成果を公表いたします。本研究を実施するにあたり、臨床情報を公益財団法人神戸医療産業都市推進機構 医療イノベーション推進センターに、個人情報に漏洩しないように厳重な管理のもとで得られた情報を共有し、COVID-19の重症化因子の検証を行います。

< 研究協力の任意性と撤回の自由について >

研究課題への臨床情報の利用に関してご同意を頂けない場合は、2022年6月30日までに、当院の研究担当者にご連絡ください。上記研究での使用を中止致します。なお、ご同意いただけない場合にも、今後の当院での診療になんら不利益を被ることはありません。

< 個人情報の取り扱いについて >

この研究で得られた情報はすべて、埼玉医科大学病院 感染症科・感染制御科において、個人が特定できないように管理いたします。したがって、研究参加者のプライバシーは十分に保護されます。なお、研究が正しく行われているかどうかを確認するため、研究が行われている途中や終了した後に、この研究の関係者や研究責任者もしくは埼玉医科大学病院IRBが指定した者が、研究参加者のカルテなどをみることがあります。その場合、これらすべての関係者は、情報を漏えいしてはならないということが法律で決められています。

< 研究成果の公表 >

研究参加者の協力によって得られた研究の成果は、提供者本人やその家族の氏名などが明らかにならないようにした上で、学会発表や学術雑誌およびデータベース上で公に発表されることがあります。

< 費用負担 >

ここで行われる研究に必要な費用は、研究参加者が負担することはありません。またこの研究の実施にあたり、埼玉医科大学病院、研究責任者および共同研究者は、研究結果に影響を与える可能性のある、第三者からの利益（経済的および人的）の提供がないことを確認しています。

<研究から生じる知的財産権の帰属>

本研究の結果として特許権などのいわゆる知的財産権が生じる可能性があります、その権利は埼玉医科大学ならびに共同研究機関に属し、研究参加者には属しませんので、ご了承ください。

<本研究に関する問い合わせ>

(所属) 埼玉医科大学病院 感染症科・感染制御科

(氏名) 樽本 憲人

(連絡先) TEL:049-276-2032

E.mail : tarumoto@saitama-med.ac.jp